

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。家族でいっしょに過ごす楽しい団らんを！



どたばたで過ぎた  
一年間  
会長 市橋 正一

前々からそれとなく前任の桑原重雄会長からは打診があつて、水野吉近鷺山自治会連合会長からは是非と勧められ、お引き受けしたのはいけい、はじめは役割も仕事の内容もよくわからぬ状態でした。自分としては、「地域の教育力を活用し、学校教育では担えない部分を補完する」、のが当会議の役割と考えていました。

令和3年度末になつて活動振り返り、右往左往の一年間でした。令和3年度当初、ふるさとふれあい活動の取組みとして「三代交流 秋の祭典」を位置付けて、実行委員会立ち上げ準備スタートした。非常事態宣言で、取組中止の苦渋の決断。さてもうしたのかと思ひ、さねていたから、鷺山まちづくり協議会主催で「竹灯籠グランプリ」開催を模索し、情報、急遽共催をお願いし、鷺山まちづくり協議会と共に行なうことができました。これが表題の理由です。

青少年育成市民会議を構成する基本の部会

家庭部会	活動内容	0歳児～中学生ぐらゐの家庭教育の充実を図ることに重点を置き、活動を行っています。主な活動内容は、①0歳児の親子を対象にした「親子ふれあい教室」、②一般保護者、地域住民を対象にした研修会として「ミニ集会」を開催しています。
	構成メンバー	中学校PTA・小学校PTAの地域生活委員、成人教育委員、単位子ども会長の中から選出し、部会長は、家庭教育に精通した人を地域から推薦し、選出しています。
少年育成部会	活動内容	小学生、中学生、高校生の地域活動への参画に向けた機会の創出、少年達と一緒に地域活動の支援を行っています。主な活動内容は、①鷺山夏祭り大会へのボランティア、露店、舞台等の参加支援、②文化祭等地域活動への参加支援を行っています。
	構成メンバー	鷺山スポーツ少年団関係者から選出し、部会長は鷺山スポーツ少年団から選出しています。
青年育成部会	活動内容	35歳までの青年の健全育成を推進するための機会の創出、交流の機会を提供しています。主な活動内容は、①高校生ボランティアがまちづくり活動に参加する機会を創出し、将来の地域の担い手育成を推進しています。
	構成メンバー	部会長を青年教育に精通した人を地域から推薦し、選出しています。
社会環境部会	活動内容	青少年の健全育成環境の創出にむけて活動を行っています。主な活動内容は、①夜間パトロール等の非行防止活動、②地域の中にある危険な箇所、健全育成にとって有害な施設などの調査を行い、改善活動を行っています。
	構成メンバー	推進員、子ども会育成会、中学校PTA・小学校PTAの地域生活委員、スポーツ少年団、主任児童委員から選出し、『少年補導員』として活動します。また、小学校、中学校の生徒指導主事もメンバーとして活動します。

鷺山で独自に設置している部会

子育て支援部会	活動内容	1歳児～3歳児未満の子育て支援活動の充実を図ることに重点を置き、活動を行っています。主な活動内容は、①子育てサークル『さぎっ子くらぶ』の企画運営を行っています。
	構成メンバー	民生委員、主任児童委員から選出しています。
子ども育成部会	活動内容	子ども会育成会の活動と緊密に連携、支援を行っています。主な活動内容は、①インリーダ一生の活動支援、②その他の児童に関わる活動支援を行っています。
	構成メンバー	部会長を子ども会育成会から選出しています。

市民会議専門部会

**高校生と共に地域貢献  
青少年育成部会長  
堤 崇**

青少年育成部会では、鷺山でまちづくり活動に参加している高校生と共に、活動を推進しています。令和3年度は『三代交流 秋の祭典』のお手伝いとして、小学生の方が参加される予定だった、オリエンテering用のクイズの作成を行いました。テーマ別にクイズを作っていました。

鷺山の歴史にまつわるもの、近代歴史にまつわるもの、地域防災にまつわるもの、学校マメ知識クイズ、SDGsを学ぶためのクイズ

といった項目ごとに、小学生の低学年の方、高学年の方の両方が楽しんでもらえるように考えながら作成しました。また、SDGsについて、クイズを考えるために、基本知識を再確認しました。貧困、紛争、気候変動、感染症、人類はこれまでになかった数多くの課題に直面しています。「持続可能な世界を築くためには、どんな事が出来るだろう」「SDGs達成のために、自分はどうな事が出来るだろう」「一人一人が世界で起きていることに目を向け、考えて行動することが大事であることを考



えました。残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大により、『三代交流 秋の祭典』は中止となりましたが、地域の歴史に目を向け、社会の動きを認識する良い機会になったと思います。

続いて、鷺山自治会連合会主催で、令和4年1月9日(日)に開催された『鷺山校区新成人を祝い励ます会』のために、会場用の案内板や会場を華やかにするポスター制作を行いました。また、メッセージボードを作製して地域で一足早く成人を迎



えられた先輩方へ、高校生からのメッセージを会場に飾らせてもらいました。このポスター制作のために、年末年始の5日間に1日5時間位をかけて準備しました。また、成人式前日の会場準備や当日の準備、終了後の後片付けにも参加でき



ました。成人の先輩方へのメッセージを考える際には、自分の進学や就職についても考えて、世界的な規模でも益々変わっていく、環境、価値観、倫理観の中でも、普遍的に価値のある考え方をメッセージとする事が出来ました。

年末年始の雪が降る寒い中、ボランティアのため毎日自転車で集まって、先輩方の門出を祝うために頑張ってくれたことに感謝しています。今後も、地域貢献活動、社会貢献が自分達の生き方にも、どのような意味があるのか?考えながら活動していきます。青少年育成部会では、一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。「受けるよりも与える方が幸福である」の精神をもって、楽しむことを大切にして活動していただきます。



**さぎっ子くらぶを  
頑張って支援しています  
子育て支援部会長  
尾藤 ひとみ**

子育て支援部会では、未就園児の親子対象に「さぎっ子くらぶ」というサークルを毎月第2木曜日に鷺山子ども館で開催しています。昼間は母親と子どもだけの生活になりやすく近くに知り合いもみえない方もみえるので、同年齢のお子さんを持つお母さん達の交流できる場になればと開催しています。

令和2年度はコロナ禍のため1年間開催することができませんでした。令和3年度は自由参加から事前申し込みで人数把握をし、密にならないように対策をして開催しました。最初の頃は、家での生活が長く子ども同士で遊ぶことが少な



毎月第3火曜日は、資源分別回収の日です。

資源分別回収での収益は、福祉やまちづくりの活動に活用されます。御協力宜しくお願い致します。

かつたため、お母さんと一緒にいるお子さんが多かったのですが、今は追いかけてこしたりすることもありません。令和3年4月の最初のさぎっ子くらぶでは、保健師さんから新型コロナウイルスの感染症対策の話の伺い、その後先生や子育ての先輩の防災士のアドバイス、日光児童センターの先生や鷺山保育所の先生など、地域の様々な方々のご協力を得ながら活動しました。毎年恒例の12月のクリスマス会は、さぎっ子くらぶの活動を始めてから初めて小規模でのクリスマス会となりましたが、サンタさんも来てくれて写真を撮ったり一緒に遊ぶこともできました。



ウイルス感染症対策を徹底して、お母さんに元気でいてもらえようように運営していきたいと思っています。



令和3年度インリーダー活動と来年度の展望  
子ども育成部会  
山内 香織

令和3年度、コロナ禍ではありましたが、インリーダーは新しい企画に取り組みました。例年であれば鷺山夏祭り大会が開催され、多くのインリーダー生が、夏祭りや露店を出すことを希望していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、鷺山夏祭り大会は中止となりました。そこで、今年度は、様々な機会にインリーダー生が自ら露店で販売する商品を企画することになりました。その商品とは「鷺山パン」です。最初はインリーダー生が鷺山パンをイメージして絵に



しました。その後パン屋さんや中身などを決めていきました。そして、鷺山をイメージした山の形をしたパンに「さぎ山」の焼き印が押された「鷺山パン」が完成しました。新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきた11月には、鷺山校区文化祭が開催され、インリーダー生は初めて自分たちが企画した「鷺山パン」を販売することが出来ました。販売開始15分足らずで20個のパンが完売となり大盛況でした。



今年度は、新型コロナウイルス感染症対策上、企画したパンをパン屋さんで焼いてもらい、インリーダー生が焼き印を押し、鷺山パンの袋詰めをするに留まりましたが、令和4年度は、感染状況次第ですが、パン屋さんと一緒にパンを作ることを考えています。また、鷺山校区文化祭では、原価でパンを販売しましたが、令和4年度以降は、徐々に利益を出し、その利益を活用して、インリーダー生による次の鷺山パンの商品開発のために使うなど、更にステップアップしたインリーダー研修が出来るように計画を進めていきたいと考えています。地域の皆様のご御支援、御協力を宜しくお願いいたします。



# 今年度は子ども達が主役！ 竹灯籠グランプリを開催！

要介護一つ手前の『フレイル』になる事を予防しよう！



令和3年12月11日(土)に鷺山小学校 体育館にて、竹灯籠まつり 竹灯籠グランプリが開催されました。暗幕が閉められ真っ暗となった体育館の中に、児童達が作成した素晴らしい竹灯籠の光が広がりました。会場には、来場者が絶えることなく、竹灯籠を鑑賞していただきました。

また、グランプリを決定する投票の機会にもなっているので鷺山小学校の児童は、学校の授業で使っているタブレットを使って、投票サイトにアクセスし、候補作品に投票をしていただきました。エンディングセレモニーには、柴橋 正直岐阜市長も駆け付けて頂き、児童の作品を鑑賞され、一つの個性溢れる作品に感心されました。



令和3年12月18日(土)にはマーサ21チェリーガーデンにて、竹灯籠が展示されました。マーサ21を訪れた皆さんにもご覧頂き、竹灯籠グランプリ候補作品に、おはじきを使って投票を行って頂きました。



令和4年1月22日(土)に鷺山小学校にて、鷺山竹灯籠まつり 竹灯籠グランプリの表彰式が執り行われました。表彰式には、全141作品の中から竹灯籠グランプリ作品が選出されました。栄えある竹灯籠グランプリに輝いたのは、「きり絵と竹とうろう」を制作した5年2組 伊藤 雅陽さんです。準グランプリに輝いたのは、「織田の魂」を制作した6年1組 伊藤 優汰さんと「輝夜姫」を制作した6年3組 毛利 心咲さんになります。

本当におめでとうございます。



表彰式の様子



マーサ21の様子



体育館の様子

